

「げすの勘ぐり」私も一員か

無職

(滋賀県 62)

「共謀罪」法成立には大きなショックを受けた。その直前、自民党の高村正彦副総裁が「げすの勘ぐり」を払拭していただきたい」と言っている姿をテレビで見とぞっとした。絶望的な気分になり、怒りと不快感を覚えた。この発言は、同じく加計学園獣医学部新設の手続きなどの公正さを疑っている国民の一人である私自身にも向けられていると強く感じたからである。

爆国としてリーダーシップを取る必要がある。こんなにも懸案事項があるのに、政府は森友・加計学園をめぐる疑惑を解消せず、かつ野党に国会空転の責任転嫁をし、国会審議を空洞化させ、政治を停滞させてきた。「共謀罪」法がテロ対策というなら、警察など現場の意見を聞き慎重に審議する必要があった。このような考えはやはり「げすの勘ぐり」なのでしょう。しかし、そもそも野党や国民を「げす」と考え、あるいは国民のデモを、後に撤回したとはいえ「テロ」と言うような国会議員の方々に、国民の生命と安全を守るための法律制定の資格などないと言っておきたい。